

## 令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	関節組織を繋ぐ要：腱・靭帯ホメオスタシスの分子メカニズムの解明
研究代表者	浅原 弘嗣 (東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b></p> <p>本研究は、腱・靭帯に特異的な転写因子 Mkkx の上流カスケードがメカノセンサーとして機能し、その恒常的活性化が、瞬発力など運動機能の向上に結びつくという現象の分子機構を明らかにしようとする独創性の高い研究である。</p> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b></p> <p>Mkkx の上流カスケードの活性化が運動機能の向上をもたらす機構の解明は、運動器疾患の克服だけでなく、運動機能の増進にも結びつく学術的意義の高い研究であり、社会的波及効果も高い。</p>